

小学校第6学年 道徳学習指導案

平成29年11月13日（月）第5校時

児童数 29名

授業者 四万十市立中村南小学校 乾 城次

1 主題名

生きる喜びを感じて 【よりよく生きる喜び】 高Dー（22）

2 ねらいと教材

（1）ねらい

病気で右足を失った主人公が、不安や困難を乗り越え目標を持って前向きに生きていく姿から、人としてどう生きていくべきか考える活動を通して、よりよく生きようとする心情を育てる。

（2）教材名

^{まみ}真海のチャレンジ —^{さと}藤真海— < 私たちの道徳 小学校5・6年 文部科学省 >

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

中心とする指導内容は、D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の（22）「よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じること」である。

人間は生きている限り、だれしも困難にぶつかるものである。自分自身に十分に自信がもてないでいるために、劣等感にさいなまれたり、人をねたんだり、恨んだり、あるいはうらやましく思ったりすることもある。また、一方では、崇高な人生を送りたいという人間のもつ気高さを求める心ももっていると考える。児童はもうすぐ中学校に進学し、さまざまな困難にであうだろう。そんなときでも、いつも自分自身をみつめ、自分の弱さに目をそむけることなく、自分の可能性を信じ、よりよい生き方をめざして進んでほしい。そのためには、この時期に児童が「自分を見つめ、前向きに生きていくこと」のすばらしさや気高さを感じ、その意義について考えることは大切だと考える。

（2）児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、

～中略～

（3）使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、骨肉腫の発症により右足膝以下を切断し、水泳でリハビリをしながら陸上競技でのパラリンピック出場を目指した佐藤真美さんの実話に基づく教材である。佐藤さんの心の中の不安からチャレンジするまでの生き方を通して、不安や困難を乗り越え前向きに生きる心の強さについて考えることができる教材である。

本時の指導では、骨肉腫と分かり足を失うことになった佐藤真海さんの気持ちを考え、それでもチャレンジを決意し前向きに生きる姿から、誰もが持つ心の弱さとともに、自分らしく生きようとする姿に近づきたい。

今年度の研究主題は『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。教材や映像を通して、真海さんの思い、人間にとってのよりよい生き方について、友だちの意見と比べ、これからどのように生きていくべきか考えることによって、自己を見つめ、研究主題へとつながっていくものと考えている。

4 学習指導過程

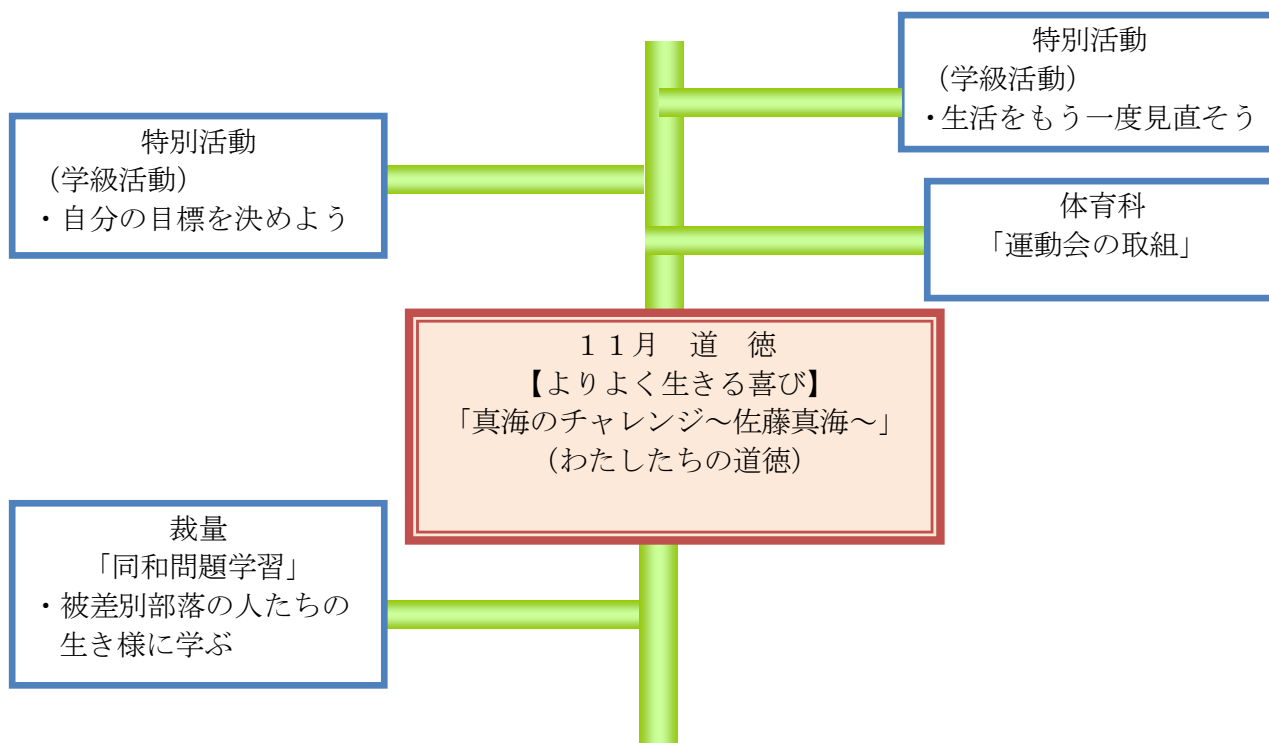
	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 佐藤真海さんについて知る。	○佐藤真海さんを知っていますか。 ・オリンピック・パラリンピック招致委員会プレゼンター ・陸上選手	・佐藤真海さんの写真と映像を見せる。
展開	2. 2教材「真海のチャレンジ」を読んで話し合う。 (1) 心に残ったところについて考える。 (2) 佐藤さんの生き方について考える。	○心に残ったところはどこですか。 ・パラリンピックに出場した。 ・骨肉腫にになった。足を失った。 ・義足でスポーツを続けた。 ・プレゼンターとしての言葉 ○(足を失う)骨肉腫が分かったとき、真海さんはどんなことを考えたでしょう。 ・足を切断することは、スポーツができない。 ・足を切断なんて絶対いやだ。 ・何も考えられない。 ・足を切断しないと生きられない。前に走れないけど切るしかない。 ・前と同じような生活はできない不安。 ◎新たなチャレンジを始めようと決意した真海さんの心には、どんな思いがあったのだろう。 ・好きなスポーツをして、自分らしく生きたい。 ・くよくよしては、楽しく生きられない。 ・前向きにチャレンジして生きる方がいい。 ・目標を持って頑張る方が自分らしい生き方。 ・自分の可能性を広げて生きたい。 ・自分のために、まわりの人のために、自分らしく前向きに生きたい。	・児童の発言から次の発問へつなげる。 ・病気になり希望を失いかけた佐藤さんの気持ちに共感させる。 【補助発問】 ・真海さんは、いつも前向きに過ごせたのでしょうか。 ・ <u>個</u> ワークシートに考えを書きにくい児童には、アドバイスを ・グループトークで友だちの考えにふれ思いを伝え合う。
終末	3 佐藤さんの生き方から、よりよく生きるとはどういうことか考える。	○真海さんの生き方や友だちの考えから学んだことを書きましょう。 ・困難におちいっても、自分の目標をもっていきることが大切。 ・いつでも自分らしく生きたい。 ・自分の可能性や夢を広げ続けたい。 ・困難にくじけず、前向きに生きていきたい。	・佐藤さんの映像を見て、学習したことをふり返り、道徳ノートに記述させる。

【評価】

※不安や困難を乗り越え前向きに生きる佐藤真海さんから、よりよく生きることについて考えを深めている。(発言、ワークシート、道徳ノート)

○準備物 掲示物・ワークシート・私たちの道徳・映像(動画、テレビ)

5 他の教育活動との関連



6 板書計画

